

# WR-V

PRESS INFORMATION

2023.12.21

**HONDA**  
The Power of Dreams

**How we move you.**  
CREATE ▶ TRANSCEND, AUGMENT

SUVカテゴリーが人気を集めるなか、Hondaはコンパクトなニューモデル、WR-Vをグローバルモデルとして開発しました。この開発は、これまでのクルマに対する価値観を刷新するものと考えています。

開発コンセプトを基に、さまざまな人々のニーズに応える、新しいSUVを目指しました。

多様な価値観が共存する時代に、HondaはWR-Vを通じて、多くの人々にクルマを使う喜びを提供したいと考えています。



コンパクトSUVをグローバル視点で開発するにあたり、私たちはまず「そもそも人々はなぜSUVを求めるのか?」という問いから出発しました。多くの人々がSUVに対して求めるのは、気持ちの自由、生活の自由、そして移動の自由だと認識し、「自由さ」を開発のキーワードとしました。

新型コロナウイルスの影響を受けた世界で、人々はさまざまな制約の中、自分と向き合い、本当に価値あるものを追求する傾向が強くなってきたと感じました。そうした変化も視野に入れ、人々が持つ多様な価値観や行動を支え、一人ひとりの日常や未来を後押しするクルマを目指したのです。

WR-Vは、シンプルでモダンなデザインに、コンパクトながらも優れた機能とゆとりある空間を持つSUVとしながら、お求めやすい価格とすることも重視して開発しました。そうすることで、お客様の生活の自由度を拡げる良きパートナーとなることを目指したのです。

また、各国メンバーの知見や技術を結集して、グローバルを見据えて開発したことで、多様なお客様にとって魅力的な、懐の深いクルマを生み出すことができました。

日本においては、若年層をはじめとした幅広い年齢層のお客様にそれぞれの「自由」を存分に味わっていただければ私たちににとって最高の喜びです。



開発責任者

**金子 宗嗣**

Munetsugu KANEKO

2006年、株式会社本田技術研究所入社。動力性能・空力研究開発部門にて空力性能開発に従事。2018年、Honda R&D Asia Pacific Co., Ltd. 駐在。2020年、プリオ(2023年モデル) 開発責任者を務める。2021年にWR-V開発責任者に就任し、現在に至る。

# VERSATILE FREESTYLER

## 自由を求める思いを後押しする

自由の大切さをあらためて感じた人々が  
既成概念や固定観念にとらわれずに  
新しい本質的な生き方を目指す思いに寄り添う  
これまでにないSUV



### 変化するニーズに応えるためクルマも変革が必要

人々が自分にとって本当に価値あるものを求めはじめた社会では今後、人々はより自由で多様な生活を選択していくと考えられます。既成概念や固定観念に縛られない、より自由な発想で人々は次の時代をリードしようとするでしょう。

この変化するニーズに応えるため、クルマも変革が必要です。このような思考から編み出されたグランドコンセプトが「VERSATILE FREESTYLER」です。

“VERSATILE”とは多様なライフスタイルやニーズに適應できる特性を意味します。そして、

“FREESTYLER”とは、私たちがさまざまな制約を乗り越え、自由に自分らしいスタイルで生きること

を表現しています。  
シンプルながらもモダンなデザインに、クラストップレベルの居住空間と荷室容量を備え、多様な用途に高い実用性で応えるコンパクトなSUV。私たちが成し遂げたいビジョン、「VERSATILE FREESTYLER」を体現したWR-Vは、多様性と自由を愛する人々の新しいライフスタイルの中心となるでしょう。



## MASCULINE & CONFIDENT

### 自信あふれる逞しさ



#### SUVとしての力強さを シンプルなデザインで表現

柔軟な発想で生活の自由度を拡げ、新たな可能性を追求する人々に寄り添う存在となるべく、「MASCULINE(マスキュリン:逞しさ) & CONFIDENT(コンフィデント:自信)」をデザインコンセプトとしました。

SUVとしての力強さを、キャラクターラインや複雑な造形に頼ることなく、骨太感のあるきわめてクリーンなデザインで表現。人に自然と寄り添える、押し付け感のないシンプルさと、逞しさを両立させました。

エクステリアは、ベルトラインが高く体幹を貫くようなしっかりとした厚みのあるボディーと、優れた走破性を体現する地上高の高いスタイリングで信頼感と安心感、風格を追求。インテリアは、堂々とした水平基調のインストルメントパネルと柔らかなパッドに包まれる安心感のある空間、先進装備の最適配置、優れた視界により、安心感と運転のしやすさを追求。所有者の自信につながるような、逞しさの感じられるデザインを目指しました。

#### THICK BODY PRIVATE PROTECTED CABIN

分厚いボディーと  
安心感に包まれたキャビン

#### MAJESTIC FRONT VOLUME

ボリューム感あるフロントがもたらす  
堂々とした風格

#### HIGH GRAVITY HORIZONTAL

高い重心と  
水平基調を強調したリアデザイン



#### PROGRESSIVE

向上心を高める  
マインドセットを提供

#### PROTECTIVE

快適で安心感のある  
乗車体験

## 逞しく頼れるSUVとして力強さを追求したエクステリア

### 頑丈で迫力ある分厚いロングノーズ

フロントフードを車両前縁まで伸ばし、先端のワイドなクロームメッキ・フロントグリルガーニッシュとスクエアなフロントグリルとあわせ、ノーズの厚さを強調。フロントフード上面の両端を一段隆起した形状にすることで、外観の力強さと車幅感覚の取りやすさも両立した安心感のあるロングノーズを表現。



### 安心感を感じるサイドウィンドウまわり

サイドウィンドウを取り囲む外板に面取り処理を行うことで視覚的な厚みを持たせ、安心感を追求。

### 頼もしさを感じさせる 体幹を貫くボディ

上下幅の広いドアパネルを中心に、フロントノーズからリアセクションまで体幹を貫くようなデザインにより、乗員を守る頼もしいSUVらしさを追求。

### 高い走破性を実現する地上高

行動の自由度を後押しする、クラストップレベルの地上高を確保。

### 筋肉質なフェンダーで引き締まった足まわり

フェンダーは、筋肉を感じさせるような丸みを持たせ、大きく張り出させて力強さを表現。また、スクエアな形状とし大型化することでタイヤの存在感が際立つ引き締まったサイドビューを実現。

### 力強さと踏ん張り感を強調する シャープシルバー塗装ドアアーガーニッシュ

ボディサイド下部に、大型のフローティングガーニッシュを採用。シルバー塗装で硬質感のある形状のガーニッシュを浮島状に配置し、SUVとしての力強さと、四隅のタイヤの踏ん張り感を強調。



### ベルトラインの高さを強調するリアデザイン

高く配置したテールランプで、SUVらしいベルトラインの高さを表現。また、リア全体を水平基調にすることでワイド感も強調しながら、切り上がったシルバー・バンパーローアーガーニッシュで地上高の高さも表現。

## スクエアなエクステリア デザインを強調する 伸びやかなライトデザイン

前後ライトのデザインも、幅広さを感じさせる水平基調のシンプルな造形としました。また、デイトタイムランニングランプ（DRL）やテールランプの光り方を、四隅に踏ん張るような形状とし、ワイド感を高めるデザインにしています。フロントはフルLED、リアはストップランプとテールランプにLEDを採用しています。

フルLEDヘッドライト（デイトタイムランニングランプ付）



デイトタイムランニングランプ



ウインカー



ロービーム



ハイビーム

LEDリアコンビネーションランプ



テールランプ



ストップランプ



ウインカー



バックランプ

## SUVらしさを際立たせる Z+タイプ専用エクステリア



ベルリナブラック・フロントグリル



シャープシルバー塗装ルーフレール  
ガーニッシュ



シルバー・ドアモールディング



シャープシルバー塗装ドアローア  
ーガーニッシュ



クロームメッキ・アウト  
ドアハンドル

## 伸びやかな ホイールデザイン



17インチアルミホイール  
（ベルリナブラック+切削）

骨太な幾何学的造形の切削デザインを採用。硬質な力強さを表現するとともに、中心から外に向けて切削面が広がる伸びやかなデザインを施し、より大きく見せる工夫を行いました。



16インチスチールホイール  
+フルホイールキャップ

シンプルな力強さと3次元の面構成によるダイナミックなデザインを施したフルホイールキャップを採用。



## 逞しさと洗練をイメージしたカラーラインアップ

日本初登場となるイルミナスレッド・メタリックをはじめ、ベーシックなプラチナホワイト・パール、クリスタルブラック・パール、ダーク系のゴールドブラウン・メタリックとメテオロイドグレー・メタリックをラインアップ。逞しさと上質さ、洗練したイメージを追求しました。



イルミナスレッド・メタリック

イルミナス (illuminous) とは「最も明るい」という意味



プラチナホワイト・パール



クリスタルブラック・パール



ゴールドブラウン・メタリック



メテオロイドグレー・メタリック

## SUVとしての信頼感と運転しやすい優れた視界を追求

### ノイズを廃しすっきりとした デザインで運転しやすい視界

フロントウィンドウのラインを水平・垂直に交わるようにし、コーナー部も直角とすることで、車体の傾きや向きを把握しやすくなるよう配慮。また、ドアミラーとフロントピラー間にしっかりと隙間を作り、歩行者等の見やすさも確保。



### 空間の拡がりを演出する エアコンアウトレットデザイン

左右のエアコンアウトレットガーニッシュは、周囲にダークシルバークラッシュを施し、ドアライニングまで張り出すようなデザインとすることで上質感と幅広さを演出。



### 柔らかなパッドに包まれる安心できる空間

フロントドアライニングやアームレスト付センターコンソールボックスなど、人が触れる部分にはソフトパッドを配置。乗員を柔らかなパッドで包み込み、安心感を提供。

### スイッチ類を集中配置

スイッチ類は、センターパネルの手の届きやすい位置に集中的に配置。ダークシルバークラッシュを施すことでスイッチエリアとしての認識しやすさを追求。

### 横幅の広さを強調する 水平基調で堂々としたデザイン

インストルメントパネルは、水平基調かつおらかな面で構成されたシンプルなデザインとし、広さと力強さを感じる堂々とした存在感を表現。先進装備を最適配置することで使いやすさも追求。

### 厚みのあるドアによる安心感と 快適な肘置き性を両立

前後席とも、ドア上部に厚みを持たせることで、SUVらしい逞しさと安心感を創出。ドアアームレスト部は深くくぼみを持たせることで、肘の置きやすさを確保するとともに圧迫感を低減。

### 視認性に優れた 大径2眼メーター

タコメーターとマルチインフォメーション・ディスプレイを表示する7インチのフルカラー液晶デジタルグラフィックメーターと、アナログスピードメーターを組み合わせたコンビメーター。



### 後席も優れた視界を確保

前席のショルダー部をスリムにするとともに後席の座面を高く設定し、後席乗員の視界の良さも確保。



## 上質でスポーティーな インテリア空間

「Z」タイプと「Z+」タイプは、ステアリングホイールとセレクトレバーに、しっとりとなじむ本革を採用。シートは、プライムスムーズ(合成皮革)とファブリックのコンビネーションとしました。フロントドアやセンターコンソールボックスにもプライムスムーズをあしらひ、上質感をより高めています。「X」タイプは、シートやセンターコンソールボックスに機能性の高いファブリックを採用し、カジュアルでスポーティーな仕上げとしました。



「Z」タイプと「Z+」タイプのインテリア。  
ブラック(コンビシート)



「X」タイプのインテリア。  
ブラック(ファブリック)



本革巻ステアリングホイール&本革巻セレクトレバー  
本革らしい手になじむ操作感。触ってわかる質の高さ



ソフトパッド(プライムスムーズ)  
肌が触れる部分にやさしい感触の素材を設定

## 運転しやすく疲れにくい ボディースタビライジングシート

前席に、骨盤から腰椎まで体圧を面で受け止めるボディースタビライジングシートを採用。クッションパッドの肉厚や乗員支持面を最適化し、優れたホールド性とやわらかな座り心地を提供します。



\*画像はフィット

## エアコンの風をリア席に届ける リアベンチレーション

リア席空間を、より快適なものとするリアベンチレーションを全タイプに標準装備。



## 室内空間の広さと 多様な収納スペースを確保

広々とした室内空間を確保しながら、さまざまな収納スペースを配置。単にスペースを設けるだけでなく、カップへアクセスする際、セレクトレバーに干渉しにくいレイアウトや、取り出し時に指が当たらないよう開口を広げるなど、使い勝手に配慮したデザインとしています。



カップを取り出しやすい  
セレクトレバーまわりのレイアウト



センターコンソール部に  
充電用USBジャックと  
便利なセンターポケットを設置



ボトルと文庫本サイズの本が入る  
ボトルホルダー付ドアポケット  
(全ドア)



ドアアームレストポケットに  
スマートフォンスタンドを設置

## さまざまな用途に対応できる空間を提供する これまでにないバランスのパッケージ

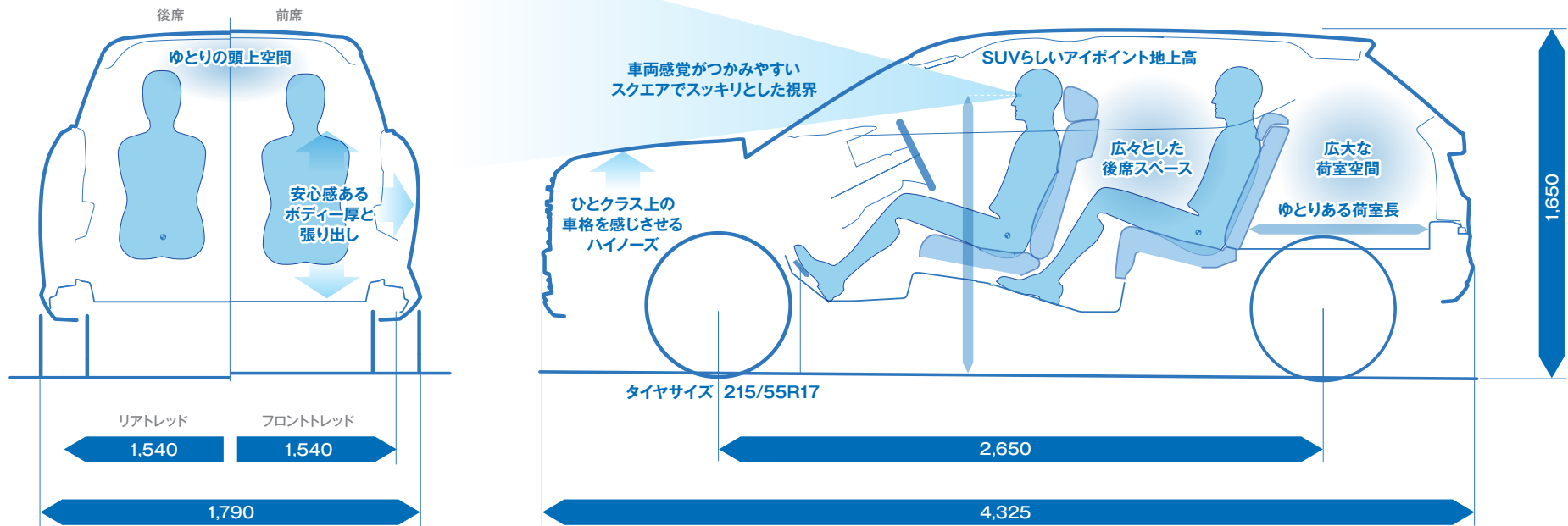
多様な価値観に高い実用性で応えるために、運転のしやすさを追求しながら、ひとクラス上のゆとりの後席スペースと荷室空間を両立する、これまでにないバランスの空間設計としました。

運転席は、誰もが快適に運転でき、安心感と疲れにくさを感じる着座位置と運転姿勢を追求。SUVらしい見晴らしのよいアイポイント地上高と、ステアリングやペダル操作のしやすいセダンライクな操作系のレイ

アウトを両立させました。

その上で、後席に圧倒的なゆとりを持たせるために長めのホイールベースを取り、さらに広大な荷室も確保。最低地上高もクラストップレベル※の195mmとし、未舗装路や段差を走行するストレスを軽減し走りの自由度を高めています。

※2023年12月現在。Honda調べ



※タイプ Z / Z+ 単位:mm

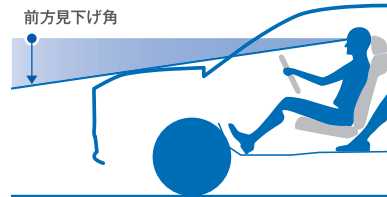
## 運転しやすい前方視界と 車両感覚のつかみやすさを徹底追求

WR-Vは、SUVに乗り慣れていない方でも不安なく運転できるように、優れた前方視界や車両感覚がつかみやすいフロントフードの見え方を追求しました。また、ひとクラス上のゆとりある空間を目

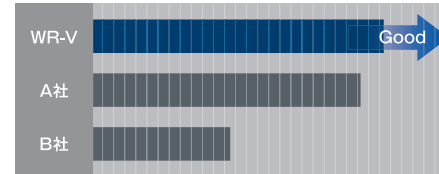
指し、ロングホイールベースを活かして室内長を確保するだけでなく、ドア下部やシートバックの形状、後席の足入れ性などにも細やかな作り込みを施しました。

### 前方視界

前方見下げ角を広く取ることで、車両前方の距離感をつかみやすくしています。



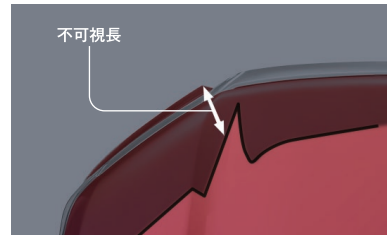
### 前方見下げ角の比較



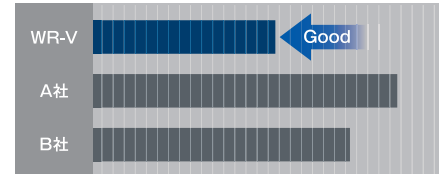
※2023年12月現在。Honda調べ

### フロントフード前端不可視長

フロントフードの高さと形状を徹底的に吟味し、前端の不可視長をきわめて短くしました。狭い路地などを曲がる際にもバンパー前端までの距離がつかみやすく、安心感を高めます。



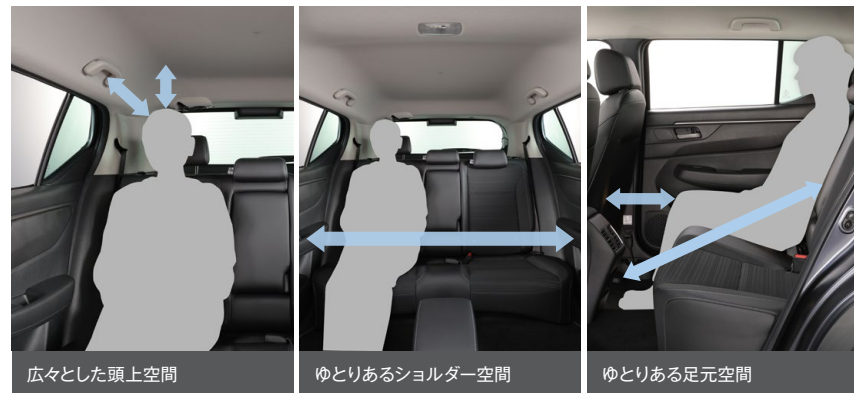
### フロントフード不可視長(左前端)の比較



※2023年12月現在。Honda調べ

### 心地よい広さを追求

ゆとりのある室内高やロングホイールベースによる、ひとクラス上の広さを持つ空間をベースに、心地よさをさらに高めるきめ細かな工夫を行いました。肩・肘まわりは、ゆとりの広さに加えドアアームレスト上部をくぼませることで実寸以上のゆとりを創出。後席は、十分な膝まわり空間に加え、フロントシートバックの下部形状を工夫することで優れた足入れ性も実現しました。



## さまざまな目的で ストレスなく使える荷室容量

さまざまな目的で使えて多様な価値観に応えられるよう、ゆとりある荷室容量を確保しました。後席からの荷室長を十分に確保した上で、荷室内の壁面を可能な限りフラットにし、床下にも広いスペースを設けるなど、さまざまな工夫を施しました。

### 収納イメージ

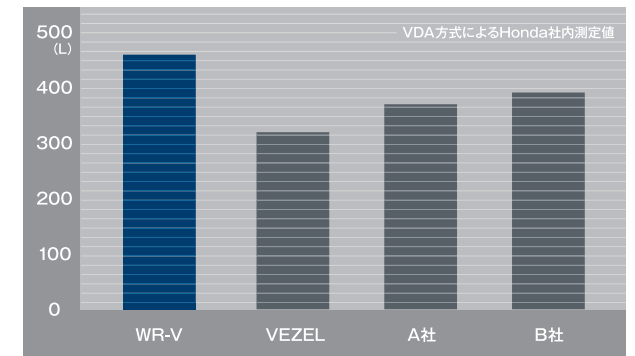


スーツケース: 4個積載可能  
25インチ×2個  
21インチ×2個

ゴルフバッグ: 2個積載可能  
9.5インチ×2個

※荷物のサイズ・形状によっては積載できない場合があります。

### 荷室容量の比較



※2023年12月現在。Honda調べ

荷室容量も、ひとクラス上のゆとりを実現。

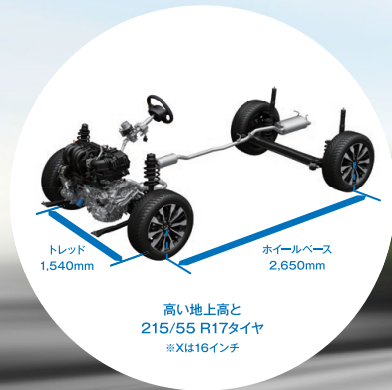


ダイナミック性能

## 自由で躍動的な生活を楽しむ思いを 後押しするSUV

### 安定感のある走り

ロングホイールベースによる安定感



### 安心感のある ブレーキ性能

スムーズなレスポンスで  
的確なコントロール性を実現

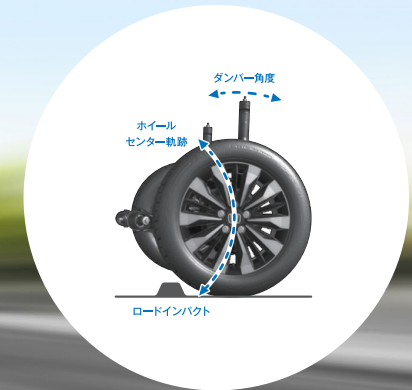
デザイン  
快適性  
高品質

人の気持ちに寄り添うダイナミック性能

## 安心・信頼

### 快適な乗心地

最適なサスペンション設定でショックを吸収



### スムーズな 操縦性

スムーズな操作感と的確な  
コントロール性を実現

### 安心感と信頼感に満ちた、人の気持ちに寄り添うダイナミック性能の追求

安心感と信頼感に満ちた「人の気持ちに寄り添うダイナミック性能」を実現するため、乗る人の「走る・曲がる・止まる」という意志に対し、スムーズかつ的確に反応する操縦性能と、優れた安定性、快適な乗り心地を追求し、誰もが快適に運転できるSUVを目指しました。

SUVに乗り慣れていない方でも、不安なく扱いやすさを感じることができる、懐の深いダイナミック性能の実現により、WR-Vのデザインや空間の心地よさ、上質さという魅力を引き立てることに寄与させました。

## リニアで力強い加速を追求 人の気持ちに寄り添う加速フィール

最高出力87kW[118PS]、最大トルク142N・m[14.5kgf・m]を発生する1.5L DOHC i-VTEC直列4気筒自然吸気エンジンを搭載。CVTに専用セッティングを施し、自然吸気エンジンの特徴であるリニアなパワーフィールをより素直に引き出しました。その上で、ドライバーの意思に的確に反応し扱いやすい加速特性を追求。リニアで力強く、人の気持ちに寄り添う、懐の深い加速フィールを追求しました。



1.5L DOHC i-VTECエンジン

最高出力 **87kW**[118PS]/6,600rpm

最大トルク **142N・m**[14.5kgf・m]/4,300rpm

**WLTCモード** 16.4km/L (Xタイプ)  
燃料消費率

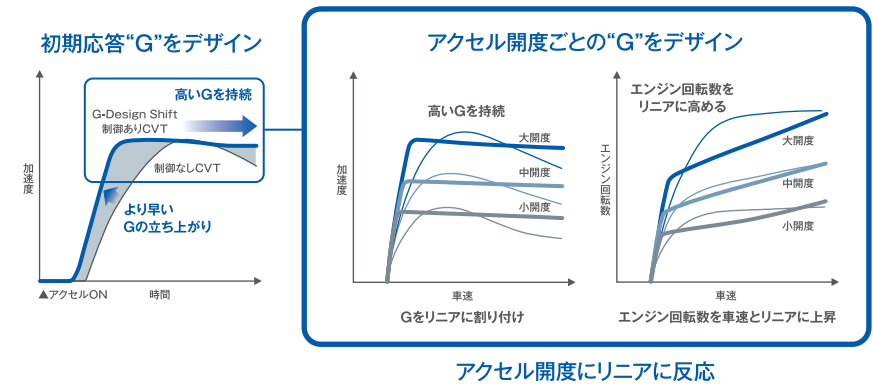
### 専用セッティングを施したCVT

**ローレシオギアを採用**  
リニアで力強い加速フィールを実現するために、ローレシオギアを採用しレスポンスを向上。

**軸支持ベアリングにボール/ローラーを採用**  
伝達効率をより高めるために、セカンダリー軸支持のベアリングにボール/ローラーを採用。

## リニアな加速感が得られる 「G-Design Shift」

リニアで力強い加速フィールを実現するために、Honda独自の協調制御技術「G-Design Shift」を、WR-Vの車両特性に最適化して採用しました。

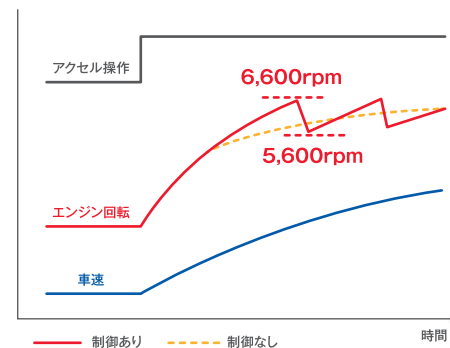


## さまざまな走行シーンで 感覚にフィットする走りをもたらす緻密なシフト制御

加速時・減速時のステップシフト制御をWR-Vに合わせて最適化しました。

### 全開加速ステップアップシフト制御

有段トランスミッションのように、リズムカルなエンジン回転数の変化とエンジン音で、加速感とシンクロした心地よい走りを追求しました。



### ブレーキ操作ステップダウンシフト制御

一定以上強くブレーキを踏み込んだ減速時、段階的にシフトダウンさせてエンジンブレーキを効かせることで減速の安心感を確保。コーナリ

ング中は横Gを判断してエンジン回転数を高く保ち、コーナー立ち上がりでのスムーズな走りを支援します。

**下り坂**  
ブレーキを踏むと自動でダウンシフト

**高速道路の出口**  
ブレーキを踏むと自動でダウンシフト  
減速後の加速がスムーズ

**コーナリング中**  
横Gを感じるとエンジン回転数をキープ  
高いエンジン回転数を保って力強い立ち上がり



## 懐が深く扱いやすいリニアな操縦性と優れた乗り心地の両立を目指したシャシー

ロングホイールベースによる直進安定性の高さや乗り心地のよさなど、優れた基本性能を土台に、いかに懐の深い乗り味を追求していくかがWR-Vのシャシー開発のポイントとなりました。

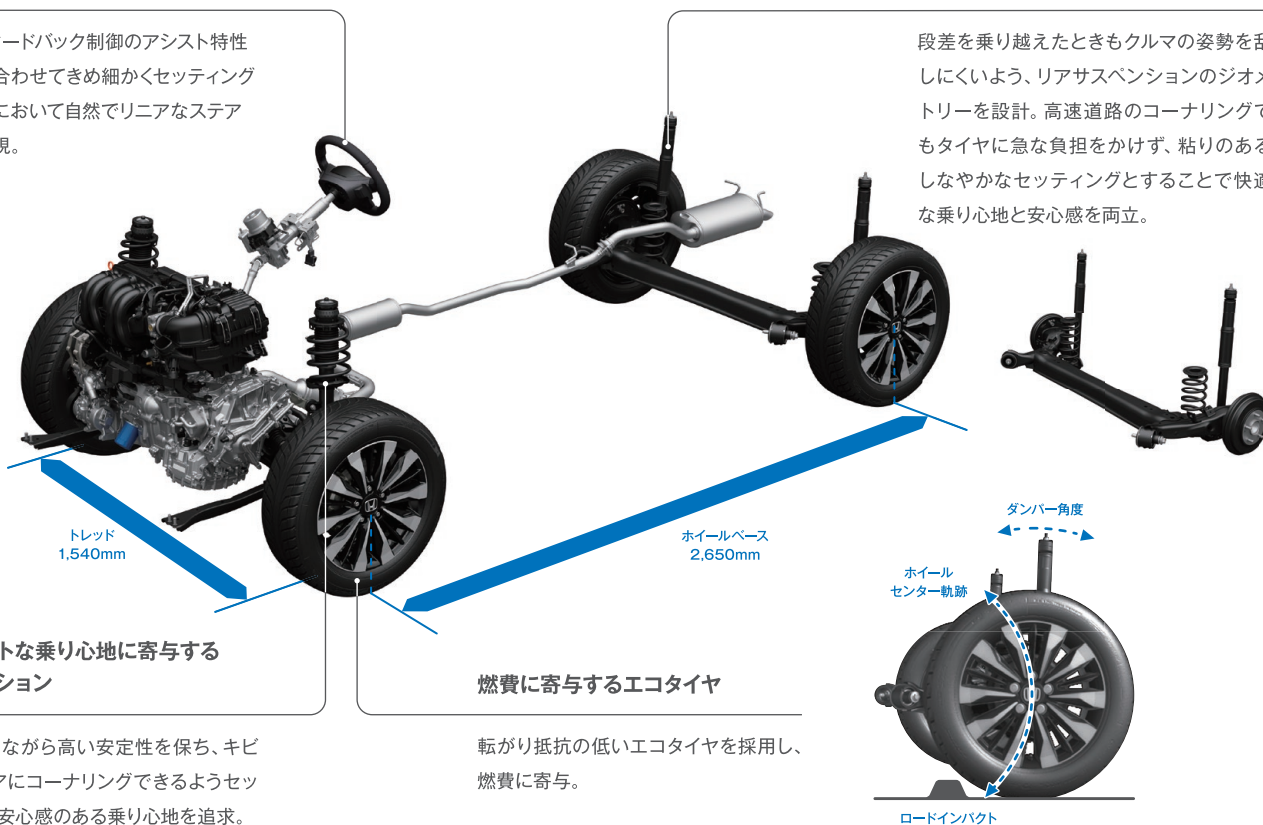
フィットやヴェゼルなどで熟成してきたプラットフォームをベースに、サスペンションジオメトリーやトーション・ビームのねじれ剛性、スプリング特性、電動パワーステアリングの特性などを徹底した走り込みで

煮詰め、扱いやすいリニアな操縦性を目指しました。それにより、さまざまなシーンで、乗った瞬間から長年乗り慣れたクルマに乗るかのような安心感と信頼感に満ちた心地よい乗車感覚を提供します。

扱いやすいシャシー性能とすることで、WR-Vのグランドコンセプトの背景にある、乗り手の気持ちを阻害せず、「時間を大切に」「創造的なことを考える」前向きな思いに寄り添うSUVとしました。

### リニアなステアリングフィールの電動パワーステアリング(EPS)

EPSの舵角速度フィードバック制御のアシスト特性を、シャシー特性と合わせてきめ細かくセッティングし、さまざまな状況において自然でリニアなステアリングフィールを実現。



### スムーズでフラットな乗り心地に寄与するフロントサスペンション

スムーズにロールしながら高い安定性を保ち、キビキビ過ぎず、リニアにコーナリングできるようセッティング。フラットで安心感のある乗り心地を追求。

### 燃費に寄与するエコタイヤ

転がり抵抗の低いエコタイヤを採用し、燃費に寄与。

### 安心と信頼のハンドリングを支えるリアサスペンション

段差を乗り越えたときもクルマの姿勢を乱しにくいよう、リアサスペンションのジオメトリーを設計。高速道路のコーナリングでもタイヤに急な負担をかけず、粘りのあるしなやかなセッティングとすることで快適な乗り心地と安心感を両立。

### さまざまなシーンで扱いやすさを追求



## 未舗装路でも安定した 走行性能を発揮する高剛性ボディー

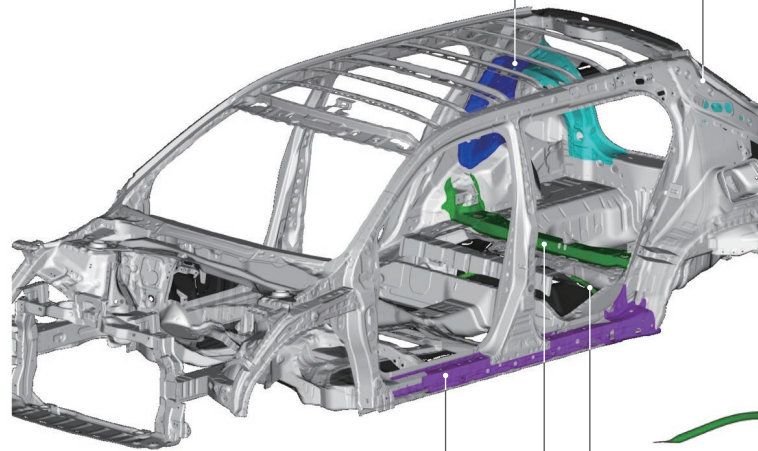
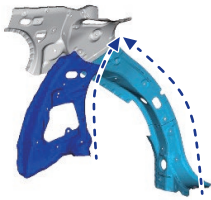
ボディー開発を進める上で、未舗装路走行も視野に入れ、高剛性化するだけでなく、路面から大きな入力があった際でも、スムーズに力を伝達するようリアピラーの結合部やテールゲート開口部を設計しました。

それにより、タイヤの接地性を高め、挙動を安定させるとともに、扱いやすい操縦性を追求。また、リアのフロア部にパフォーマンススロットを採用することで、ハンドリング性能を高めました。

### ボディーの設計意図と高剛性化部位

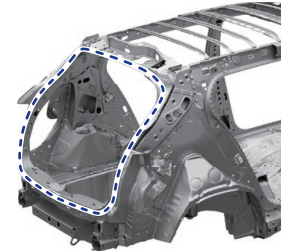
#### リアピラー結合部

力の伝達がスムーズになるよう、リアピラー結合部を設計。



#### テールゲート開口部

力の伝達がスムーズになるよう、シンプルな構造設計を採用。



#### サイドシル

的確なハンドリングと安心感のあるスタビリティを確保するために高剛性化。



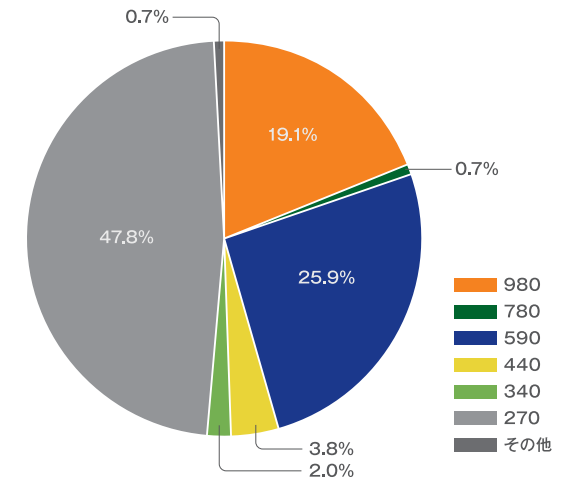
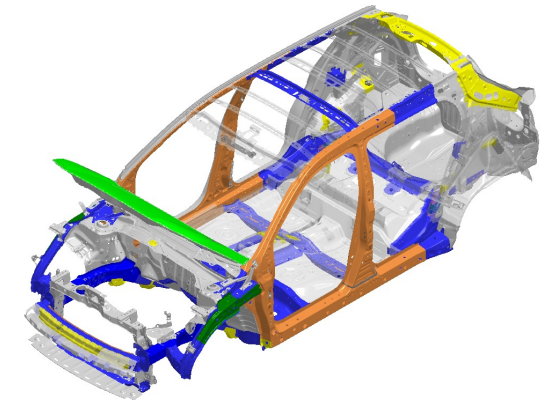
#### リアフロア

ハンドリング性能を向上させるために、リアフロアの高断面メンバーからサスペンション取り付け部にかけてパフォーマンススロットを採用し高剛性化。

## 高張力鋼板の配置を最適化して 操縦安定性と衝突安全性を両立

優れたハンドリング性能と衝突安全性を高い次元で両立させるために、高張力鋼板の適用範囲や配置を最適化しました。

### 高張力鋼板適用箇所と適用率

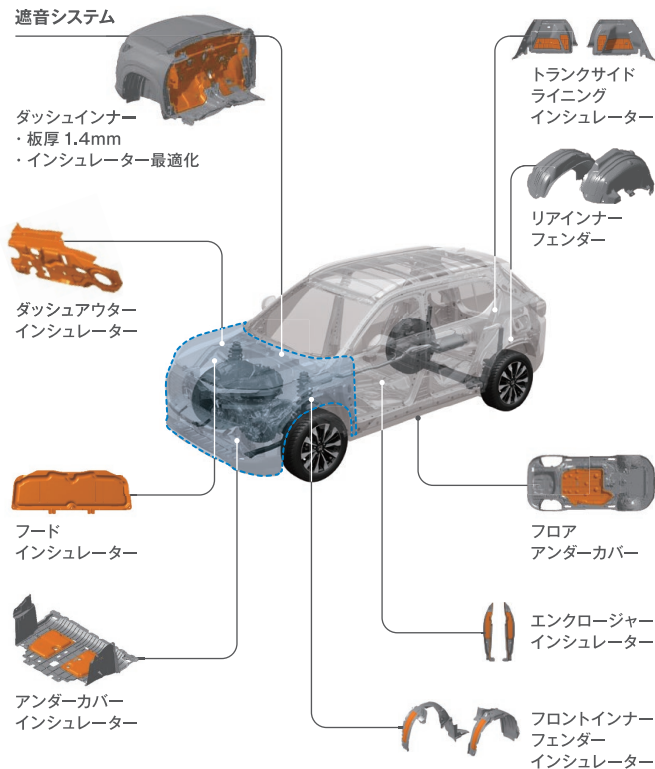


## 快適な静粛性と 走る喜びを高めるサウンド

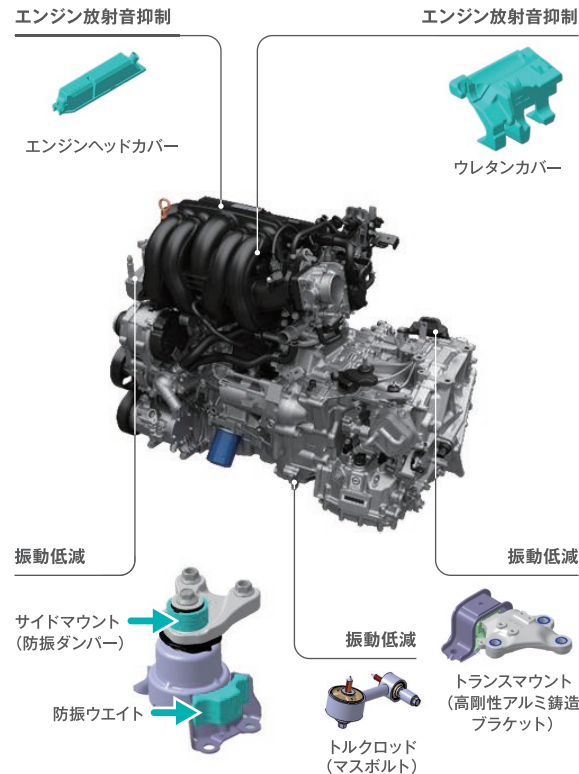
遮音材等の配置によりロードノイズを抑えるとともに、エンジンまわりのさまざまな対応でノイズを低減し、国内同クラスのコンパクト

SUV同等以上の静粛性を確保。あわせて、走る喜びを高めるエンジンサウンドも実現しました。

### エンジン放射音/ロードノイズ低減技術



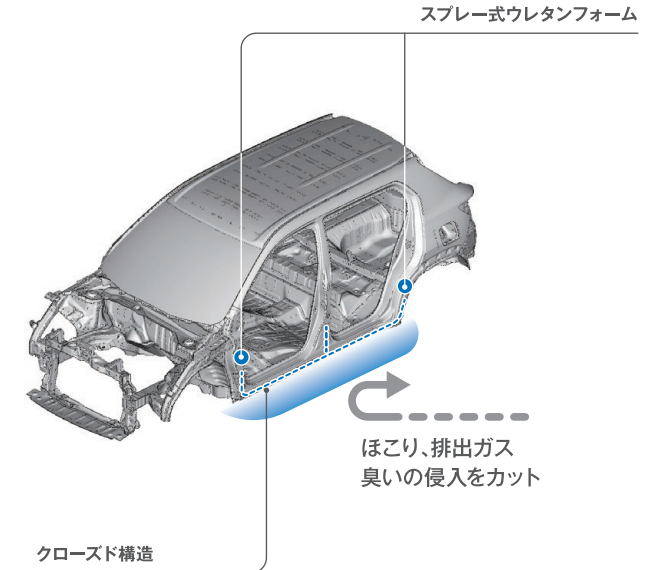
### エンジン放射音/振動低減技術



## 遮音と防塵に寄与する スプレー式ウレタンフォーム

スプレー式ウレタンフォームを、サイドシル内部の隅々にまで施しシーリングすることで、タイヤのロードノイズやその他の音の侵入を防ぐとともに防塵を行い、快適な室内環境を実現しました。

### スプレー式ウレタンフォームの適用



# コネクテッド

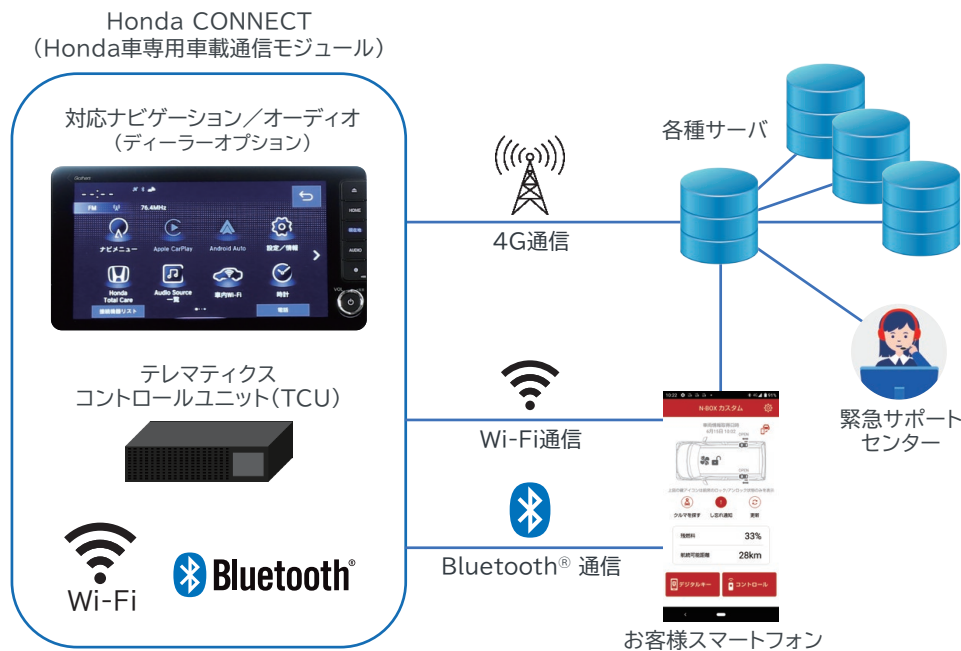


## 新世代コネクテッド技術「Honda CONNECT」を通じた 安心・快適なカーライフサポートサービス 「Honda Total Care プレミアム」

車載通信モジュール「Honda CONNECT」を搭載し、ナビゲーションとオーディオをディーラーオプションとして設定。ボタンひとつでオペレーターが対応する「緊急サポートセンター」、車内でゲーム機やタブレットなどを便利に使える車内Wi-Fiなど、「Honda Total Care プレミアム」の充実したサービスが利用できます。

Honda  
**CONNECT**

### システム概要



Honda CONNECTは、3つの無線規格に対応する車載通信モジュール。お客様のクルマのデータを送受信し、それらを活用することで安心・快適なカーライフに役立つさまざまなサービスの提供を可能とします。

### Honda Total Care プレミアム サービス一覧

- スマホでクルマの操作や確認ができる  
Hondaリモート操作※1

  - エアコン操作
  - スライドドア操作
  - クルマを探す
  - し忘れ通知・操作
- ボタンひとつでオペレーターが対応  
緊急サポートセンター
- クルマをWi-Fiスポットに  
車内Wi-Fi
- あたらしい地図に自動で更新  
自動地図更新サービス※2※3
- 盗難・いたずらに迅速対処  
Honda ALSOK駆けつけサービス

「Honda Total Care」へのご加入、および「Honda Total Care プレミアム」へお申し込ただくとご利用いただけます。

※1「Hondaリモート操作アプリ」のダウンロードが別途必要となります。

※2「Honda CONNECTナビ」装着車のみご利用いただけます。

※3「Honda Total Careプレミアム」基本パック解約時は、工場出荷時の地図に戻ります。

### 対応ナビゲーション／オーディオ(ディーラーオプション)



- 9インチ Honda CONNECTナビ
- 8インチ Honda CONNECTナビ
- 8インチ ディスプレイオーディオ(Honda CONNECT対応)

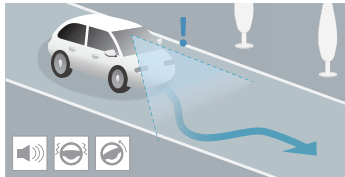
The background is a dark, textured surface, possibly asphalt, with several white dashed lines representing road markings. Overlaid on this are several bright, multi-colored light trails in shades of red, orange, and yellow, which appear to be moving across the frame. The overall effect is one of motion and energy.

安 全

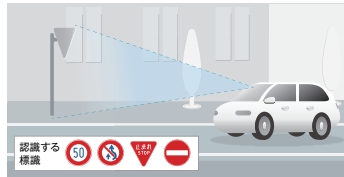
# Honda SENSING

事故やヒヤリとする場面を未然に防ぐことで、毎日の運転に安心を届け、ドライバーの不安や困りごとを少しでも減らすために、Honda SENSINGは先進の安全運転支援機能でさまざまなシーンで運転をサポートします。

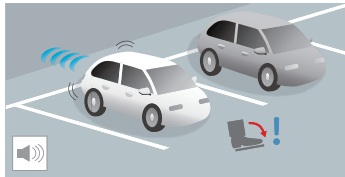
はみ出さないために  
路外逸脱抑制機能



みのがさないために  
標識認識機能



不意の後退を防ぐために  
後方誤発進抑制機能※1

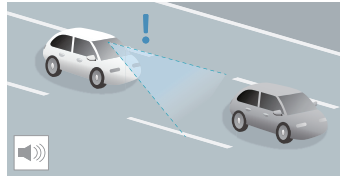


ぶつからないために  
近距離衝突軽減ブレーキ※1



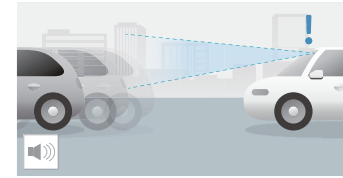
## 街なかで

ぶつからないために  
衝突軽減ブレーキ (CMBS)

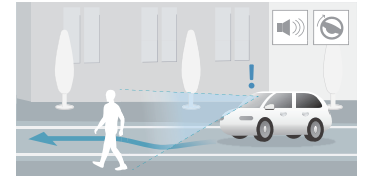


CMBS: Collision Mitigation Braking System

発進をお知らせ  
先行車発進お知らせ機能

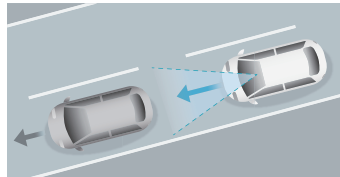


歩行者に配慮  
歩行者事故低減ステアリング

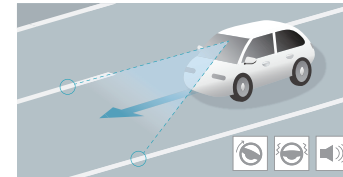


## 高速道路で

適切な車間距離を保つために  
アダプティブクルーズコントロール(ACC)



ふらつかないために  
車線維持支援システム(LKAS)



LKAS: Lane Keeping Assist System

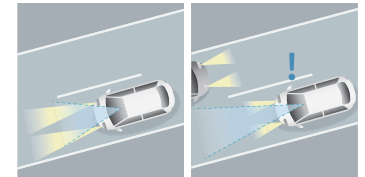
## 駐車場で

飛び出さないために  
誤発進抑制機能※1



## 夜間に

良好な視界確保のために  
オートハイビーム



■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気を付け、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。 ■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車に対して衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。 ■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。 ■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h〜約40km/hで走行中、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断したときに、また、ウインカーを作用させている場合には作動しません。 ■標識認識機能は、最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識を認識し、メーターに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で走行中に作動します。 ■アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、約30km/h以上で走行中に作動します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなど適切な車間距離を保ってください。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。 ■車線維持支援システム(LKAS)は、約65km/h以上で走行中に作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウインカーを作用させている場合には作動しません。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。 ■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行中、自車のほぼ真正面の近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、エンジン出力を抑制し、急な後退を防止します。 ■後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で後退中、自車のほぼ真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときエンジン出力を抑制し、急な後退を防止します。 ■近距離衝突軽減ブレーキは、約2km/h〜約10km/hで走行中、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、ブレーキを制御し停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。 ■急アクセル抑制機能は、停止中や約30km/h以下で走行中、踏み間違えと思われる急なアクセルペダル操作であるとシステムが判断したときエンジン出力を抑制し、急な加速を抑制します。交差点や本線への合流など、加速が必要な状況を想定した、ウインカー操作中と解除後約2秒間、アクセルペダルを大きく踏み込むことが想定される登坂路、加速のためのブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み換え直後約2秒間は作動しません。 ■パーキングセンサーシステムは、車両や周囲の状況によりシステムが正しく作動しない場合があります。システム使用時も直接目視で周辺の安全確認を行いながら運転してください。 ■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。

※1「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「踏み間違え衝突軽減システム」と呼びます。 ※2 工場出荷時は機能オフの設定です。オンにするには別途販売会社の専用機器によるセッティング作業が必要です。別途セットアップ費用(ディーラーオプション)が必要となります。 ※3 ナビ画面に表示するには、対応するナビゲーションが必要となります。

■イラストは機能説明のためのイメージ図です。

## クラストップレベルの衝突安全性能

衝突安全性能においては、衝突時の衝撃(G)をコントロールして人への傷害を軽減するHondaの「Gコントロール技術」をベースに、リアルワールドにおける優れた衝突安全性能を追求。全方位の衝突に対応するクラストップレベルの衝突安全性能に加え、優れた歩行者保護性能を備えました。

### 全方位衝突対応ボディー

- ・衝突エネルギーの効率的な分散
- ・最適な鋼板の配置
- ・自己保護性能と相手車両への攻撃性低減を両立(コンパティビリティ対応)



**G-CON**  
G-FORCE CONTROL TECHNOLOGY

#### 正面衝突テスト



オフセット 64km/h



フルラップ 55km/h

#### 側面衝突テスト

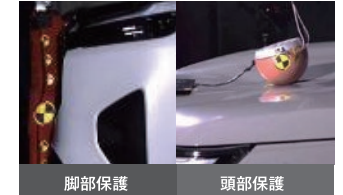


台車 50km/h



ボール 32km/h

#### 歩行者保護テスト



脚部保護

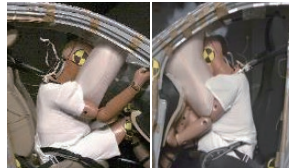
頭部保護

#### 後面衝突テスト



台車 50km/h

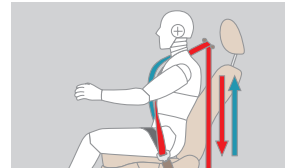
### 乗員保護のための衝突安全装備



運転席用&助手席用  
i-SRSエアバッグシステム



前席用  
i-サイドエアバッグシステム+  
サイドカーテンエアバッグシステム  
(前席/後席対応)



フロント3点式ロードリミッター付  
プリテンショナーELRシートベルト+  
運転席/助手席ラッププリテンショナー



ISOFIX/i-Sizeチャイルドシート  
下部取付金具(リア左右席)+  
トップテザー取付金具(リア左右席)



頸部衝撃緩和とフロントシート



主要装備

● は標準装備

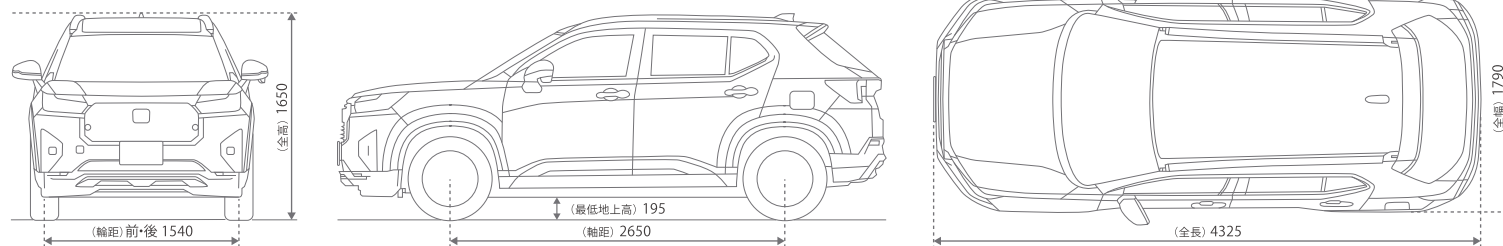
タイプ	X	Z	Z+
駆動方式	FF	FF	FF
安全装備／ 運転支援機能	Honda SENSING (衝突軽減ブレーキ(CMBS)、誤発進抑制機能※1、後方誤発進抑制機能※1、近距離衝突軽減ブレーキ※1、歩行者事故低減ステアリング、路外逸脱抑制機能、アダプティブクルーズコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)、先行車発進お知らせ機能、標識認識機能、オートハイビーム、パーキングセンサーシステム※2)		
	急アクセル抑制機能		
	●	●	●
	フルLEDヘッドライト(デイトタイムランニングランプ付)(マニュアルレベリング/オートライトコントロール機構付)	●	●
前席用i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム(前席/後席対応)	●	●	●
【全タイプ標準装備】●運転席用&助手席用i-SRSエアバッグシステム ●VSA ●モーションアダプティブEPS ●EBD(電子制御制動力配分システム)付ABS ●エマージェンシーストップシグナル ●ヒルスタートアシスト機能 ●頸部衝撃緩和フロントシート ●フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルト+運転席/助手席ラッププリテンショナー ●リア3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルト(左右席) ●リア3点式ELRシートベルト(中央席) ●全席シートベルト非着用警報(シートベルトリマインダー) ●ISOFIX/i-Sizeチャイルドシート下部取付金具(リア左右席)+トップテザー取付金具(リア左右席) ●イモビライザー(国土交通省認可品) ●セキュリティアラーム(国土交通省認可品) ●サイドアンダーミラー ●ダブルホーン			
快適装備／ メーター	Honda CONNECT for Gathers+ナビ装着用スペシャルパッケージ		
	マルチインフォメーション・ディスプレイ (経過時間/トリップメーター/平均車速/平均燃費/瞬間燃費/推定航続可能距離表示機能など)		
	7インチ デジタルグラフィックメーター		
	フルオート・エアコンディショナー		
	リアベンチレーション		
	充電用USBジャック(Type-A/助手席用)		
	【全タイプ標準装備】●4スピーカー ●Hondaスマートキーシステム※4(降車時オートドアロック機能/キー2個付) ●プッシュエンジンスタート/ストップスイッチ ●テレスコピック&チルトステアリング ●運転席/ハイアジャスター ●PM2.5対応高性能集塵フィルター ●運転席ドアワンタッチ式/パワーウィンドウ(挟み込み防止機構/キーオフオペレーション機構付) ●ワンタッチウインカー ●ヘッドライトオートオフ機能 ●パワードアロック(テールゲート連動、運転席マスタードアロックスイッチ付) ●リアシートリマインダー ●アクセサリソケット(DC12V)(フロント/リア) ●USBジャック(Type-A/運転席用)		
インテリア	コンビシート(プライムスムースxファブリック)		
	本革巻ステアリングホイール		
	本革巻セレクトレバー		
	ソフトパッド(プライムスムース(フロントドアライニング、フロントドアアームレスト))		
	● ファブリック	● プライムスムース	● プライムスムース
	リアセンターアームレスト(ドリンクホルダー付)		
	パーセルカバー		
【全タイプ標準装備】●運転席用&助手席用バニティミラー付サンバイザー ●防眩ルームミラー ●ピアノブラック調インパネガーニッシュ(助手席) ●ダークシルバークラッシュインテリア(ステアリングガーニッシュ、ドアライニングガーニッシュ(フロント/リア)、エアコンアウトレットガーニッシュ(運転席/センター/助手席)、エアコンコントロールノブ) ●6:4分割可倒式リアシート ●センターポケット ●助手席シートバックポケット ●ドリンクホルダー(フロント) ●ドアポケット(全ドア) ●ボトルホルダー付ドアポケット(全ドア) ●グラブレール(運転席/助手席/リア左右席) ●LEDフロントマップランプ ●ルームランプ ●ラゲッジルームランプ ●コンビニフック(ラゲッジルーム内左右2ヵ所)			

## 主要装備

エクステリア /ガラス	LEDフォグライト		●	●
	電動格納式リモコンカラードドアミラー (LEDウインカー付)	●	● オートリトラミラー	● オートリトラミラー
	Z+専用エクステリア (ベルリナブラック・フロントグリル/シルバー・ドアモールディング、シャープシルバー塗装ドアアーガーニッシュ)			●
	アウトードアハンドル	● カラード	● カラード	● クロームメッキ
	シャープシルバー塗装ルーフレールガーニッシュ			●
<b>【全タイプ標準装備】</b> ●LEDポジションランプ(導光タイプ) ●IRカット(遮熱)/UVカット機能付フロントウインドウガラス ●IRカット(遮熱)/スーパーUVカットフロントドアガラス ●UVカット機能付ソフトプライバシーガラス(リアドア/リアクォーター/テールゲート) ●クロームメッキ・フロントグリルガーニッシュ ●シルバー・バンパーローアーガーニッシュ(フロント/リア) ●ドアサッシュブラックアウト ●間欠フロントワイパー(ミスト機構付) ●フロントウインドウウオッシャー ●ウオッシャー付間欠リアワイパー(リバース連動) ●熱線式リアウインドウデフォグガー ●LEDリアコンビネーションランプ(ストップランプ&テールランプ) ●シャークフィンアンテナ				
走行 関連 足まわり メカニクス	16インチスチールホイール+スチールラジアルタイヤ+フルホイールキャップ	●		
	17インチアルミホイール(ベルリナブラック+切削)+スチールラジアルタイヤ		●	●
	パドルシフト	●	●	●
	<b>【全タイプ標準装備】</b> ●DBW(ドライブ・バイ・ワイヤ) ●応急バンク修理キット(スペアタイヤレス)※5			

※1「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせると「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます。※2 ナビ画面上に表示するには、対応するナビゲーションが必要となります。※3 工場出荷時は機能オフの設定です。オンするには別途販売会社の専用機器によるセッティング作業が必要です。別途セットアップ費用(ディーラーオプション)が必要となります。  
 ※4 Hondaスマートキーシステムは、施錠・解錠のときなどに電波を発信します。その際、植込み型心臓ペースメーカー等の医療用電子機器に影響を与える可能性があります。※5 工具(ジャッキ/ジャッキハンドルバー/ホイールナットレンチ(兼ジャッキハンドル))は装備していません。  
**■仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。**

寸法イメージ図 単位:mm Z+



主要諸元

タイプ		X	Z	Z+
駆動方式		FF		
車名・型式		ホンダ・5BA-DG5		
トランスミッション		無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)+パドルシフト		
寸法・重量・乗車定員	全長/全幅/全高(m)	4.325/1.790/1.650		
	ホイールベース(m)	2.650		
	トレッド(m) 前/後	1.540/1.540		
	最低地上高(m)	0.195		
	車両重量(kg)	1,210	1,230	
	乗車定員(名)	5		
	客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ	1.945/1.460/1.280	1.955/1.460/1.280	
エンジン	エンジン型式/エンジン種類・シリンダー数及び配置	L15D/水冷直列4気筒横置		
	弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2		
	総排気量(L)	1.496		
	内径×行程(mm)	73.0×89.5		
	圧縮比	10.6		
	燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)		
	使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン		
性能	燃料タンク容量(L)	40		
	最高出力(kW[PS]/rpm)	87 [118]/6,600		
	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	142 [14.5]/4,300		
	燃料消費率(国土交通省審査値)  (km/L)	16.4	16.2	
	市街地モード(WLTC-L) (km/L)	12.4	12.3	
	郊外モード(WLTC-M) (km/L)	17.4	17.2	
	高速道路モード(WLTC-H) (km/L)	18.2	18.0	
主要燃費向上対策	可変バルブタイミング、自動無段変速機(CVT)、電動パワーステアリング			
最小回転半径(m)	5.2			
動力伝達・走行装置	変速比 前進/後退	2.526~0.408/2.706~1.489		
	減速比	5.436		
	ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		
	タイヤ	215/60R16 95H	215/55R17 94V	
	主ブレーキの種類・形式	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式リーディング・トレーリング		
	サスペンション方式	マクファーソン式/車軸式		
	スタビライザー形式	トーション・バー式/ー		

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。■WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。■WR-V、Honda SENSING、LKAS、PGM-FI、プライムスムーズ、Prime Smooth、VSA、i-VTECは本田技研工業株式会社の商標です。■Bluetooth®は米国 Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。■Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。■製造事業者：Honda Cars India Ltd.(製造国：インド共和国) ■輸入販売元：本田技研工業株式会社



「平成30年排出ガス基準50%低減レベル」認定車  
全タイプ



※このラベルはフロン法に  
基づく指定製品に使用されて  
いる冷媒フロンの環境影響度  
として用いられている地球  
温暖化係数(GWP)について、  
定められた目標への達成度  
を表したものです。

基礎情報	車両型式		5BA-DG5		
	原動機	型式	L15D		
		総排気量(L)	1.496		
	駆動装置	駆動方式	FF		
変速機		CVT			
環境性能情報	燃料消費率*1	WLTC	燃費(km/L)*2	16.4	16.2
			市街地モード(WLTC-L)	12.4	12.3
			郊外モード(WLTC-M)	17.4	17.2
			高速道路モード(WLTC-H)	18.2	18.0
			CO <sub>2</sub> 排出量(g/km)〈燃費からの換算値〉	141.6	143.3
		参考	—		
	排出ガス	適合規制・認定レベル		平成30年排出ガス基準50%低減	
		試験モード		WLTCモード	
		認定基準値(単位:g/km)	CO	1.15	
			NMHC	0.05	
		NO <sub>x</sub>	0.025		
		参考	—		
	適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値:加速走行70dB(A)		
エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFO-1234yf/1*4			
	使用量	380g			
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下) 自工会2006年目標達成(1996年使用量*5の1/10)			
環境負荷物質削減	鉛	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)			
	水銀	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)			
	六価クロム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)			
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)			
取組への環境への	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て		
		リサイクルし易い材料*7を使用した部品	ウインドウモール類、バンパーフェースなどの内外装部品		
		再生材を使用している部品	—		
		リサイクル可能率	車全体で95%以上*8		
	その他	グリーン購入法適合状況	—		

\*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。\*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。\*3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) \*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。\*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。\*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。\*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。\*8「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。※この環境仕様書は2023年12月現在のものです。